

科目名 「 歯科衛生士概論Ⅱ 」

学年	学期	科目責任者	
1	後学期	中澤 広美	
科目ナンバリング	C-6-⑦		
単位数	2		
学修目標 (GIO)	人びとの健康を支援していくために対象者のニーズを把握し、倫理的・論理的に思考するとともに、問題発見および問題解決する方法を理解する。		
担当教員	*中澤 広美、*遠藤 弘康		
教科書	最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』 最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』第2版		
参考図書	新歯科衛生士教本『歯科衛生士概論』第2版 最新歯科衛生士教本『保健生態学』第3版 最新歯科衛生士教本『歯科衛生士と法律・制度』第3版		
評価方法 (EV)	平常試験80%、履修態度(授業の積極的参加・出欠席)10%、提出物10%を総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	歯科衛生士として健康を支援する医療者としての社会的責務を自覚すること。またヒトとして他者への思いやりが持てるよう、また自身の気づきができるようになることを望む。授業には積極的に参加すること。医療者として体調管理には留意すること。原則として欠席した場合の補講は行わない。		
オフィスアワー	17:00～18:00		
日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/5 (火)	歯科衛生士と医療倫理①	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 社会人として医療者としての倫理的行動をとるために倫理の必要性を理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・倫理の必要性について説明できる。 ・医の倫理について概説できる。 ・患者中心の医療について説明ができる。 ・歯科衛生士と倫理について関係づけることができる。 【準備学修項目】 予習(60分):最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第6を読んでおくこと。 最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』第1章2章を読んでおくこと。(60分) 「歯科衛生士に求められる倫理的行動について」自分の考えをまとめておくこと。 復習(60分):医療者として医療倫理をどう考えるか、また歯科衛生士に求められる倫理的行動について具体的な例を挙げ、まとめること。 【アクティブラーニングの有無】 有 【学修方略(LS)】 ・講義・グループワーク・レポート	*中澤

<p>第2回 10/12 (水)</p>	<p>歯科衛生士と 医療倫理②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 倫理の必要性を理解し適用するために必要な社会人として医療者としての倫理的行動を考察する。 【行動目標(SBOs)】 ・バイオエシックスについて概説ができる。 ・研究に関わる倫理的配慮の要件が述べられる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(60分)最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第6を読んでおくこと。 最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』第2章第4章を読んでおくこと。 「医療の技術が発達したことによってもたらした倫理問題について」自分の考えをまとめておくこと。 復習(60分)「医療の技術が発達したことによってもたらした倫理問題について」具体的な例を挙げ、自分の考えをまとめること。 【学修方略(LS)】 ・講義、グループワーク・レポート</p>	<p>*中澤</p>
<p>第3回 10/19 (火)</p>	<p>歯科衛生士と リスク管理①</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科医療の安全管理を行うために必要な知識・態度を身につける。 【行動目標(SBOs)】 ・安全管理の必要性が説明できる。 ・インシデント・アクシデントについて説明できる。 ・リスクマネジメントの必要性を説明できる。 ・ヒューマンエラーの対策が述べられる。 ・アドボカシーの用語が説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(30分)最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第5章を読んでおくこと。 復習(30分)身近で起きたインシデント・アクシデントを例に挙げ、振り返りを行うこと。 【学修方略(LS)】 講義・レポート</p>	<p>*中澤</p>
<p>第4回 10/26 (水)</p>	<p>歯科衛生士と リスク管理②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科医療の安全管理を行うために必要な知識・態度を身につける。 【行動目標(SBOs)】 ・インシデント・アクシデント実際に理解し、対応策について推論できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(60分)インシデント・アクシデントを防ぐために何が必要か、また解決策について考えをまとめておくようにすること。 復習(30分)身近に起きたインシデント・アクシデントの再発防止策を考えまとめる。実際に歯科医療現場で起きたインシデント・アクシデントの分析をし、再発防止策を考えまとめる。 【学修方略(LS)】 講義・グループディスカッション</p>	<p>★中澤</p>
<p>第5回 11/2 (水)</p>	<p>インフォームド・コンセント</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 患者・医療者双方の権利と義務を知るためにインフォームド・コンセントについての知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・インフォームド・コンセントについて説明できる。 ・インフォームド・チョイスについて説明できる。 ・セカンド・オピニオンについて説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 最新歯科衛生士『歯科衛生学総論』第6章 最新歯科衛生士『歯科医療倫理』第3章をよんでおくこと。(60分) 【学修方略(LS)】 講義・ロールプレイ等</p>	<p>★中澤</p>

<p>第6回 11/9 (水) 第7回 11/16 (水) 第8回 11/30 (水) 第9回 12/7 (水)</p>	<p>歯科衛生士の 活躍場面</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士を志す新たな目標を示すために歯科衛生士の活躍の現場を知る。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士の活躍の場を説明できる。 ・それぞれの仕事内容が説明できる。 ・なりたい歯科衛生士像が述べられる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(30分)最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第7章を復習すること 復習(60分)各方面で活躍している歯科衛生士の仕事内容をまとめること。また「目指す歯科衛生士像」を考え、そこに到達するためにはそのような学校生活を送ることがベストなのかを考えまとめること。 【学修方略(LS)】 講義、レポート  *歯科保健指導論と授業変更 *各方面(病院、歯科企業、保健センター、Wライセンス(高齢者施設))等で活躍をしている歯科衛生士の先輩に仕事内容を説明してもらう。</p>	<p>★中 澤</p>
<p>第10回 12/14 (火)</p>	<p>歯科衛生過程①</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生業務を行うために必要な歯科衛生過程の意義を理解し、活用術を身につける。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生過程の説明ができる。 ・歯科衛生過程の5つのプロセスを述べられる。 ・POS、SOAPを概説できる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(60分)最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第4章をよんでおくこと。 復習(60分)歯科衛生過程の6つの要素に具体例を入れまとめること。S・Oデータ・Oデータの詳細例を考えまとめること。SOAPそれぞれの説明がせきるようにまとめること。 【学修方略(LS)】 講義・グループワーク・レポート</p>	<p>*中 澤</p>
<p>第11回 12/21 (火)</p>	<p>歯科衛生過程②</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生業務を行うために歯科衛生評価をし書面化を実施する。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生過程の5つのプロセス(アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価)を実施できる。 ・POS、SOAPを実施できる。 ・歯科衛生業務記録の意義を説明し、記入の実施ができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(60分)歯科衛生過程、S・Oデータ、SOAPを復習すること。 復習(60分)歯科衛生過程にそって身近な問題を分析すること。 【学修方略(LS)】 講義、グループワーク・レポート</p>	<p>*中 澤</p>
<p>第12回 1/11 (火)</p>	<p>海外の歯科衛生士の 活躍</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士としてグローバルな視点を持つために海外の歯科衛生士の活動を知る。 【行動目標(SBOs)】 ・海外における歯科衛生士の教育内容を概説できる。 ・海外における歯科衛生業務内容を概説できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【準備学修項目】 予習(30分)『歯科衛生学総論』第8章を読んでおくこと。 復習(60分)海外の歯科事情をまとめること。日本との違いをまとめること。 【学修方略(LS)】 講義・レポート</p>	<p>*中 澤 *遠 藤</p>

<p>第13回 1/18 (火) 第14回 1/25 (火)</p>	<p>自己啓発と自己管理 ①  自己啓発と自己管理 ②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 患者対応のためにまたチーム医療のために自分自身の個性を理解し表現力・コミュニケーション力を身につける。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士に必要なものは何か述べられる。 ・歯科衛生士に求められるコミュニケーションスキルとは何か自分の考えを述べられる。 ・様々なコミュニケーションの種類および効果的な手法を説明できる。 ・歯科衛生士としてふさわしい表現力ができる。 ・歯科衛生士としてふさわしいコミュニケーションができる。 【アクティブラーニングの有無】 有 【準備学修項目】 予習(30分)自分が描く歯科衛生士像をまとめておくこと。歯科衛生士にふさわしいコミュニケーションを考えまとめること。 復習(60分)身近な会話、相互実習で気になった会話を例に挙げ、分析をし、対応策を検討すること。 【学修方略(LS)】 講義、グループワーク、ロールプレイ・レポート</p>	<p>*中澤</p>
<p>第15回 2/1 (火)</p>	<p>平常試験</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士概論Ⅱで修得した知識確認のため客観的試験を実施する。 【行動目標(SBOs)】 ・人びとの健康を支援するために必要なことを倫理的・論理的に記述できる。 ・問題発見の仕方および解決するための方法が記述できる。 ・自分が目指す歯科衛生士像を明確に記述できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【準備学修項目】 予習(180分)歯科衛生士概論Ⅱを総復習すること。 復習(60分)平常試験の振り返りを行い、誤ったところは正しく覚えなおすこと。また2年からの臨床実習の心得として自覚をもつこと。 【学修方略(LS)】 客観試験および解説講義</p>	<p>*中澤</p>